

2011年1月27日

- 記者からの質問
 - 当社からの回答
 - ※ 3Q=10-12月期、9ヶ月累計=4-12月期

- この3Qは、営業利益や四半期純利益が過去最高だったようですが、9ヶ月累計ではどうだったのですか。
 - 営業利益は9ヶ月累計でも過去最高益になりました。四半期純利益は、上期に本社移転関係の特別損失を計上した影響で、9ヶ月累計では前年同期比減となりました。

- 企業ネットワーク事業の売上増について、特に金融業向けが伸びた背景について教えてください。
 - 金融業において、事業統合によってオフィスを移転するなどの必要があり、これに伴うオフィス内情報通信システム関連のニーズがありました。

- キャリアネットワーク事業の売上増について、モバイル高速化とはどのような需要なのでしょう。これは既存の3G関係ですか、それとも次世代モバイル(LTE)関連ですか。
 - スマートフォンの普及により、モバイル網に流れるデータの情報量が激増し、ネットワークの容量に課題が出て来たことによるインフラの増強です。加入者が増えると、それに伴いバックボーンの増強が図られ、その結果また加入者が増えるというようなサイクルになります。
 - 現在の需要は3Gです。LTEについては今後順次サービスが開始されます。

- 社会インフラ事業における消防・防災関連とは、具体的にどのような需要が出てくるのでしょうか。
 - まず出てくるのは、消防に関わる無線や指令台のシステムです。市町村合併などにより、広域対応を図る需要が出てきたことや、従来のアナログ波のシステムをデジタル化するニーズなどがあります。
 - すでに先行的にプロジェクトが出てきている地域もありますが、そこでは大きなポジションを獲得しています。

- 来年度の業績についてどのように見たらよいのでしょうか。伸びる分野、減る分野はどこでしょうか。
 - これから予算として検討していきますので、現時点で具体的な数字は持っていません

が、当社は中期目標として売上高3000億円、営業利益180億円というターゲットを掲げていますので、それに向けて進めるように検討したいと考えます。

- 中期目標策定時から、消防システムの立ち上がりがやや遅れていたり、市場全体の設備投資も回復が大きくないなどの変化もありますが、クラウド等情報通信をサービスとして利用する傾向が強まっており、データセンター関連やコンタクトセンター関連などのサービス関連事業はさらに伸ばせる可能性があると思います。
- 来年度についても、純粋な工事関連が伸びないと考える一方で、サービス事業を伸ばしていきたいと考えています。

- サービス事業が増えると収益性にどのような影響がありますか。

- サービス事業はそのための基盤作りに一時的な初期投資がありますが、事業が拡大しても固定費は大きく増えないので、収益性は改善します。

- コンタクトセンター業務を行う第一アドシステム社を子会社化しましたが、海外にコンタクトセンターを置く考えはありますか。

- 現時点では、具体的な検討はありません。まずは海外に出る日本企業に対するサービスを増やしていきたいと考えています。中国の広州に現地法人があり、このような拠点を活用していきたいと思います。
- M&Aについては、第一アドシステム社だけでなく、積極的に検討していきます。

以上